



井戸端がやう版

令和2年8月発行

ITの進化

今般の情勢の中、皆様方には、何かとご不便にお過ごしのことと存じます。

「チーム井戸端」の活動は、ご承知の通り自粛の状態であります。先ごろの新型コロナウイルス感染症の防止に、行政の「3密を避ける」との方針から他人との接触を避けるため、人の集まるイベントや集会等への様々な規制が設けられました。そのような状況下で、在宅勤務や在宅学習、生活必需品等の宅配依頼、キャッシュレス決済等、ITを主として生活様式の変化がみられています。

しかしながら、様々な事情でITとは全く無縁な方々もおります。日常生活に必要な情報元の多くがSNSとなってきた中、今回のように感染症の拡大や災害時に有効活用できる道具として、特に高齢者世帯等への導入や使い方の支援を検討していただきたいものです。新型コロナウイルス感染症は終息しておりません。

まだ油断しないで下さい。

南部協議体 サンサン会 篠崎 勉 (sc)

南部 サンサン会 メンバー紹介

篠崎勉 (sc) 石川笑美子 岡本正枝 久野久枝 奈田善朗 堀江友子 渡邊利一
館野かおり (社会福祉協議会) 古田龍之介 (地域包括支援センターえがお)
小松崎登美子 (第1層SC) 西村幸雄 横瀬いづみ (高齢福祉課)

南部圏域の特徴と課題

【特徴】

- ・高齢化率が30%を超えている地区が多くある。
- ・地域の団結力があり、助け合いも自然とできている地区もある。そういった地域では、住民同士よく立ち話をしている。

【課題】

- ・新興住宅地のような高齢化率が低い地域と高齢化率が高い地域では、地域差があり課題も違う。

今年度の取り組み

●地域の繋がりが少ない地域での

「コミュニティ」作り

- ・自主防災組織の取り組みからつながった地域での活動をモデルに、若い世代を巻きこんでのコミュニティを作る。
- 次のステップとして、移動支援にもつながっていく。

若い世代が地域の活動に参加してもらえれば、活性化できるんだけどな...

高齢者世帯だから
ゴミ出しが大変...

ゴミ

出かけようにも移動
手段の確保が大変...



ひとはみんなのために
みんなはひとりのために
つながって幸せづくり

この協議体でのつながりが地域の困り事への力になるよう、メンバー全員と協力して頑張っていきます。 古田

編集：篠崎、小松崎、館野、西村、横瀬、古田

お問い合わせ・発行責任者

筑西市高齢福祉課 西村・横瀬

TEL：0296-22-0526

※井戸端カフェは、当面の間「かわら版編集者会議」として開催します。



井戸端がやう版

令和2年7月発行

こんにちは

私達「仁志の会」の(仁)は人を思いやる心です。誰もが笑顔でいきいきと毎日を過ごすために、特に前代未聞のコロナ禍において「相手を守り」「自分を守る」ための思いやりの行動はとても大切だと思います。日本が誇る医療制度や年金が少子高齢化のために、その土台がゆらいでいます。少子化の中、地域の人々が、困っている地域の人々を支えるため、いろんな能力を持っている方々に情報を発信し、手をたずさえて行けたらと思います。

「地域の困り事」に耳を傾け、「様々な地域で活動、提案し、発信して下さる声」に智恵をもらう。地域の中で私達だけでなく、次世代の人々も安心して夢を持って生きて行くため(志)を持って歩んで行けたらと思います。コロナに負けず、上手にコロナを恐れながら、様々な地区で活動しておられる皆様の情報を受け止め、皆様と笑顔でお会い出来る日を楽しみにしております。

西部協議体 仁志の会 鈴木サカエsc



西部 仁志の会

メンバー紹介

鈴木サカエ (sc) 坂本久 塩田保江 水木洋三

館野かおり (社会福祉協議会) 川俣篤志 (地域包括支援センターしらとり)

小松崎登美子 (第1層sc) 西村幸雄 横瀬いづみ (高齢福祉課)

西部圏域の特徴と課題

【特徴】

- ・鬼怒川が近くにあり河川敷でのイベントや活動が充実。
- ・医療やスーパー、公共の交通機関等は整備されているが、高齢化率が高い地区などには行き届いていない。

【課題】

- ・鬼怒川が流れていることで災害のリスクがある。
- ・サロン活動を計画しようとしても、地域で開催できる場所がない。

今年度の取り組み

鬼怒川河川敷で【川カフェ】の開催

- ・自治会(女方ときわ地区)の防災散歩を参考に安全な避難経路、通学路などの地域の情報を把握し、住民同士の交流の場を作る。

地域の皆が少しずつ役割を担い地域力を高められるといいな

若い世代とも交流を図っていききたいな...

地域の皆が気軽に集まれる場所があったらいいな

ひとはみんなのために
みんなはひとりのために
つながって幸せづくり

皆が地域に関心をもち、世代をこえた関わりが出来るよう、頑張っていきます。

川俣

編集：鈴木、小松崎、館野、西村、横瀬、川俣

お問い合わせ・発行責任者

筑西市高齢福祉課 西村・横瀬

TEL：0296-22-0526

※7月より、協議体活動を再開します。

※井戸端カフェは、当面の間「かわら版編集会議」として開催します。



井戸端がやう版

令和2年6月発行

リハビリ体操のおすすめ

コロナウイルスのため、ぎっしり埋まっていた予定がすべて中止となり、私の生活は一変しました。そこで起こったのが「腰痛」・・・まさかの運動不足でした。皆さんにおすすめしている“いつでも、どこでも、ひとりでも”がキャッチフレーズのリハビリ体操を私も朝晩することにしました。ウォーキングも始めました。その後は腰痛、膝痛も治り、運動の大切さを改めて痛感した次第です。

コロナに負けないように、免疫力を高めるには、十分な睡眠と栄養、運動が大切です。そして、何よりも「笑顔!!」です。皆様も是非リハビリ体操を行い、コロナ収束後は大いにおしゃべりに花が咲かせられるよう、元気にお過ごしくださるようお願いいたします。



東部協議体 笑みの会
藤木 美知代 SC

東部 笑みの会 メンバー紹介

藤木美知代（SC） 柴山ヒロ子 杉山悦子 平澤光子 堀江光一 松山和子
中嶋将史（社会福祉協議会） 村上知佳（地域包括支援センターなかだて）
小松崎登美子（第1層SC） 西村幸雄 横瀬いづみ（高齢福祉課）

☆東部圏域の特徴と課題

下館の中心となる地区であり、スーパーやコンビニ、医療機関や公共交通機関などの生活に必要な資源が充実しています



☆今年度の取り組み

現在も活動している高齢者クラブやシルバーリハビリ体操などを活かした
サロン活動を通じて、地域のコミュニティの活性化を図ります!!

高齢化と核家族化が進行し、資源が多くあっても活用しきれていない・・・



近隣との関わりも少なくなり、地域との関係が希薄になっている・・・
高齢者の居場所がない・・・

ひとはみんなのために
みんなはひとりのために
つながって幸せづくり

皆で手を取り合い、協議体活動が活性化出来るよう、頑張っていきます。 村上

編集：藤木、小松崎、西村、横瀬、村上



※ 6月に予定していた井戸端カフェ及び協議体は中止となります。

お問い合わせ・発行責任者
筑西市高齢福祉課 西村・横瀬
TEL：0296-22-0526



『井戸端かわら版』発行の経緯について

チーム井戸端の皆さま、お元気ですか！
毎月お会いできた皆さんと、ご無沙汰せざるを得ない状況になるとは…。
でも、デモ、『つながって幸せづくり』は、その思いさえ燃え続けさせることができたなら、必ず達成できるハッピープロジェクトなのです。そこで、今回は「井戸端かわら版」として、その思いをつなげるツールをスタートさせることになりました。
編集スタッフは皆さんひとりひとりです。チーム内でのかわら版が、いつか市民皆様のかわら版になることを夢みて、歩んでいきましょう。

(第1層生活支援コーディネーター 小松崎登美子)

『第2層協議体会議の予定』

5月の会議については、コロナウイルス感染予防の観点から、延期とします。

【協議体活動再開時の進行について】
活動休止期間が長くなっておりまして、これまでの活動状況の振り返りからスタートする予定です！その上で、具体的な取り組みを進めていきましょう！



『井戸端カフェの予定』

当面の間、中止となります。
再開の目途が立ち次第、お知らせいたします。

【井戸端カフェの開催日程】※平常時

日時：毎月第2月曜日
13時30分～15時
場所：たまり場・たろう



ひとりはみんなのために
みんなはひとりのために
つながって幸せづくり

『井戸端かわら版の発行についてのお願い』

6月号より、「第2層協議体のこれまでの活動状況と、今後の展開」について、記事として取り上げていきます。よりリアルな内容をお伝えするため、各生活支援コーディネーターにご協力をいただき、編集会議において原稿作りをしていきたいと考えております。
お忙しいところ大変申し訳ございませんが、各圏域の地域包括支援センター担当者から連絡が入りますので、ご協力お願いいたします。

【発行予定】

《(号外)》⇒小松崎SC、高齢福祉課	《6月号(東部)》⇒藤木SC、包括なかだて
《7月号(西部)》⇒鈴木SC、包括しらとり	《8月号(南部)》⇒篠崎SC、包括えがお
《9月号(北部)》⇒宮川SC、包括しらとり	《10月号(関城)》⇒中山SC、包括まごころ
《11月号(明野)》⇒鈴木SC、包括まごころ	《12月号(協和)》⇒石島SC、包括まごころ

※包括は、地域包括支援センターの略称です。
※編集会議は、3密を避け感染予防対策に留意し開催する予定です。
※編集会議は、発行前月の第3週頃を予定しております。

編集：小松崎登美子SC、筑西市高齢福祉課



お問い合わせ

筑西市高齢福祉課 西村・横瀬宛

TEL：0296-22-0526



井戸端がやう版



令和2年9月発行

私が若い頃、近所の年配のおばあちゃん達は、年齢はバラバラで気の合う人達で7~8人集まり、毎日同じ位の時間で同じ家に午前・午後の2回集まり、お茶を飲みながらいろんな話をして、「アハハ、オホホ」と楽しく過ごしているのを見て「いいなあ」と思い、年を取るのを楽しみにしていました。私も70歳を過ぎ、これからは皆で楽しく過ごすにはどうしたらよいかと考えていた矢先、思いもよらない新型コロナウイルスの拡がり、暮らしが一変してしまいました。

でも私は、誰にとっても笑いは最高だと思います。仲間と声を出して笑うことは素晴らしいことだと思います。近くでよい集まりができ、良いこと・悪いこと何でも話し合いができ、自分たちを一層高めあい明日を生きる活力にしたいと考えています。同世代が皆仲良く楽しく笑って長生きできるように... 北部協議体 いきいき助け合い北部 宮川幸子SC



いきいき助け合い北部

メンバー紹介

宮川幸子 (SC) 上野幸子 栗原ひろ子 坂入良子 中丸博之 渡邊好子

井伊左生子 (社会福祉協議会) 渡辺美恵 (地域包括支援センターしらとり)

小松崎登美子 (第1層SC) 西村幸雄 横瀬いづみ (高齢福祉課)

北部圏域の特徴と課題

【特徴】

- ・資源が少なく、公共交通機関も限られている。
- ・地域のつながりが強い地区が多い。
- ・60代になって活動に出てくる人が多い。

【課題】

- ・高齢化が深刻化すると助け合いそのものが困難となる。
- ・交通手段が少ない

今年度の取り組み

買い物ツアー (移送支援)

- ・モデル事業として蒔田地区の買い物支援を実施予定。現在、コロナ禍に入り、活動が中断してしまっている。今後は感染症予防も踏まえ、しっかりと対策を取ってゆっくりと着実に進めていきたい。

地域の季節行事も少なくなってきたね...

観音講、どんど焼きなど、北部ではやっているところもあるみたいだよ

中地区公民館には楽しい活動があるらしいよ!

ひとはみんなのために
みんなはひとりのために
つながって幸せづくり

皆で協力して、一人一人がつながって安心して生活していける地域づくりをしていきます。 渡辺



編集：宮川、小松崎、井伊、西村、横瀬、渡辺

お問い合わせ・発行責任者

筑西市高齢福祉課 西村・横瀬

TEL：0296-22-0526

※井戸端カフェは当面の間、かわら版編集会議として開催します。





「準備事業「チーム井戸端」」 第5号 令和2年
関城にっこり

井戸端 がやう版



関城協議体の目指す地域像について考えた際に、高齢化社会の中で見逃せない健康寿命を延ばすことと、社会と共生することが大事ではないかと協議しました。健康で安心感のある生活がなければ心から笑うことなどできないと思います。そこでメンバー全員で『人生につこり・皆ほっこり』というキャッチフレーズを掲げて活動していこうと決めました。

このキャッチフレーズが生まれた経緯として、協議体メンバーが話した『とある家庭』のエピソードがありました。祖母が認知症になってしまい、祖父が懸命に介護をしていた。それを見ていた別棟で暮らす息子夫婦が「祖父が元気で祖母を看てくれているから、私達夫婦が共働きできている」と感じ、息子夫婦は祖父母との同居を決意し、家族皆で協力して暮らしている、というホットな話を聞いてメンバー全員がほっこりした事がきっかけでした。



関城協議体 関城にっこり
中山文芳SC

関城にっこり **メンバー紹介** 中山文芳(SC) 海老澤茂 勝沼健二 柴光子 高橋清 塚原はや子
遊佐行弘 仁平直美(社会福祉協議会) 小島麻美・飯島尉元(地域包括支援センターまごころ)
小松崎登美子(第1層 SC) 西村幸雄・横瀬いづみ(高齢福祉課)

関域圏域の特徴と課題

～特徴～

○地域の結束力が強い

～課題～

○鬼怒川と小貝川に挟まれている地域
のため、水害のリスクが考えられる

○小地域の結束が強い反面、全体でのまとまりが取れない事がある

(旧村意識が強い)

○若い世代の自治会加入率が低い

今年度の取り組み

高齢者クラブやサロンを活性化して、地域の課題解決を図る。

台風被害... 動く！住民！

昨年の台風 15 号は千葉県を中心に
 甚大な被害をもたらしましたが、ここ関城
 地区にも被害が及びました。強風により
 『稲荷神社』と『朝日坂』の大きな杉の木
 がそれぞれに倒れ、道路を塞いでいる事

態となりましたが、雨風が吹き荒む中、地域の方々がチェーンソーやノコギリを持って駆けつけて、倒木を解体して迅速に交通路を復旧することができました。災害対策には『地域のつながり』が重要であると改めて感じることができました。

皆さんと一緒に活力溢れる地域づくりができるよう頑張ります。

飯島

お問い合わせ・発行責任者

筑西市高齢福祉課 西村・横瀬

TEL: 0296-22-0526

※井戸端カフェは、当面の間「かわら版編集者会議」として開催します。

編集：中山、勝沼、小松崎、西村、横瀬、小島、飯島

井戸端がやう版

11月

住みやすい地域を目指して

誰もが平穏に暮らせると思っていた日本社会に突如として迷い込んできた
“コロナ禍”、それでも尚どうしたら「安全」で何をしたら「楽しむことが
出来る」のかを手探りの中で見つけ出し実行していかなばなりません。

今まさに東西を桜川、小貝川で仕切られた筑波山麓一帯の田園地帯が新たな
生活様式を確立する必要を迫られています。

安閑としていられない今般の状況にあっても正しく恐れながら英知を絞って
挑戦していかなばなりません。

皆が“前向きに生きられる地域”を目指して

他人のことに精を出す(忘己利他)の精神で社会に貢献したい。

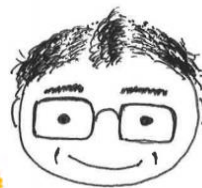
明野産コシヒカリの
おにぎりが
うまーい！！



明野地区

明野キンモクセイ

鈴木正志 SC



明野キンモクセイ メンバー紹介 鈴木正志(SC) 飯島勝枝 飯村朋子 鈴木親男 廣瀬千鶴子 深見恭子

深見登美子 稲順子(社会福祉協議会) 渡辺京子・村田沙織(地域包括支援センターまごころ)

小松崎登美子(第1層 SC) 西村幸雄・横瀬いづみ(高齢福祉課)

～ 明野地区の特徴～

- ・大村(海老ケ島)地区のみにスーパーマーケット、銀行、医療機関などが集中している。
- ・交通機関が乏しく“高齢者、一人暮らし”は生活が困難に。
- ・人口は少ないが温かみのある近隣との連携が容易な所。
- ・両河川存在から昨今の豪雨による洪水被害のリスクは残る。



逆説の発想で...

交通機関は少ない
が、環境に優しいク
リーンな所

3密を避けられる空間
が多く万事に熟慮でき
る所

買い物はドライブを
兼ねて、地域の観賞の
できる所

～ 今後の取り組み～

- ・コロナ禍でのお買い物リストを活用した
買い物代行のサービス。
- ・人生の楽しみを享受してもらう内容の検
討。(旧明野時代から継続している各小学
校区での“いきがいサロン”を充実展開)

皆さんが安心した生活が出来るよう協議体メンバー
と協力して頑張っていきます。 渡辺・村田

お問い合わせ・発行責任者
筑西市高齢福祉課 西村・横瀬
TEL: 0296-22-0526



編集：鈴木、小松崎、西村、横瀬、渡辺、村田

※井戸端カフェは、当面の間「かわら版編集者会議」として開催します。



井戸端がやう版



“紅っ子” SC のつぶやき

え、ええっ、筑西市の人口が10万人を切った！10月1日市の統計である。検索を続けると5年間で4,600人ほど減少し、なぜか世帯数だけが微増している。出生率はどうかという、近隣の平均的な数字が出るものの、気がかりなのはピーク時の半分以下の出生率。高齢化率は32.1%、5年スパンで4%の伸び率は県平均より高く、流出入人口比が関係しているようだ。この地域を示す数値は、まさに「少子化社会」「高齢化社会」、加えて「核家族化」を色濃く映している。

「紅っ子」は生活支援の「キーワード」拾いをずっと行っている。高齢者のゴミ出しや買い物に不自由な方たちを絡げて「何々難民見～っけ」とか・・・。「独居高齢者の食事会をしているよ。」「配食サービスの試食会をしようか」「空き家が増えているね」など・・・。メンバーの多種多様の発言は様々な活動の糸口。これらを纏めて「紅っ子」は今、何を編出すか、何ができるのか。まだまだ「キーワード」拾いが続く。



協和紅っ子 メンバー紹介 石島正典 (SC) 大山重行 桑野章 高坂幸子 中島順子 深見美代 松原謙一 柳田功

飯塚理絵 (社協 協和支所) 安達美貴 篠崎祐也 (地域包括まごころ 協和)

小松崎登美子 (第1層 SC) 西村幸雄 横瀬いづみ (高齢福祉課)

ゴミ出しに困っている近所の人に声掛けしているけど、自分ができなくなって誰かが助けてくれる仕組みづくりができればいいね。



ひとはみんなのために
みんなはひとりのために
つながって幸せづくり



サロンを作りたいけど場所とか移動手段とか課題が出てくるわよね。人も必要になるだろうし何かいい方法はないかしら。

地域の陽だまりにベンチを置いたらお達者カーで遊びに来られるかもね。

マップ作りでみ～つけた！ 協和ってこんなところ

～特徴～

- 市街地に店舗が集中、医療機関や介護施設は分散している。
- 地域のボランティア活動が活発、高齢者クラブも元気。
- 農業が盛んな緑豊かな地域、「紅っ子」由来の「紅こだますいか」は特産品。

～課題～

- 移動手段に困っている高齢者が多い。特に医療機関への受診が課題。
- 空き家や空き地が多い。



今年度の取り組み

高齢者クラブやボランティアの活動も活かし、高齢者も集えるサロンやシルバーカーで立ち寄るベンチサロン、またボランティアの詰め所カフェなど地域にマッチしたサロンづくりを勧めます。

どんどん足も使って地域の実態を把握しながら、皆で協力し、笑顔が絶えない地域づくりを目指して頑張っていきます！

安達 篠崎



お問い合わせ・発行責任者
筑西市高齢福祉課 西村・横瀬
TEL：0296-22-0526

編集 紅っ子 小松崎 西村 横瀬